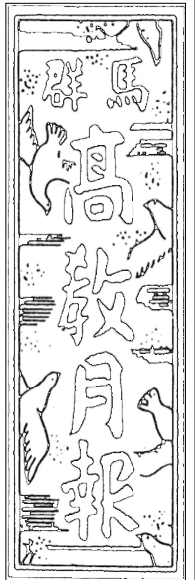


# 2023年度第2回中央委員会

入試日程や1日5教科、採点業務や追試験、非常勤の勤務振替で議論沸騰



前橋市大手町 3-1-10  
群馬高教組  
027-231-2784  
gntu@educas.jp  
http://www.gntu.org/

## 2回中央委員

教え子を再び戦場に送るな！

憲法を守れ

子どもたちを未来を手渡そう



3月3日(日)、第2回中央委員会が教育会館中会議室で開催されました。学年末考査から初の一本化入試・卒業式と過密スケジュールを受けての開催ということもあり、入試についての発言が続出した後、すべての議案が承認されて会議は終了しました。議長の坂本さん・春山さん、議運の坂田さんには大変お世話になりました。寄せられたご意見は、3月12日の春闘期要請行動で県教委に訴えていきます。慌ただしい年度末ですが、新年度へ向けて、みんなで結束して頑張ります。

### 高校入試

**水田委員長挨拶** (要旨)  
高校入試から卒業式とお疲れのところ、ご参加ありがとうございます。3年の副担任をしているので、卒業生に「自分に少し負荷をかける」よう話しました。組合にとっても「今自分に何ができるのか？」分岐点にあると思います。できない理由を探すのではなく、できることを少しでもやるのが大事です。一人ひとりの組合員が小さなさざ波を起こせば、やがて大きな波になります。前橋市長選では小川さんが当選を勝ち取る画期的な結果となりました。ウクライナや中東の深刻な状況をどう打開するのか、能登半島の被災者救済、原発の問題にどう取り組むのか、課題はたくさんありますが、平和をめざし、子どもたちと教職員・組合の明るい未来を切り拓くべく、活発なご議論をお願いします。

○入試では、大問入りよりもチェックの方が大変だった。非常勤の先生方の振替は教頭が確認していたが、大変そうだった。  
○数学の回収が1枚になったのはよかったです。試験の日はきつかったが、採点は3日間ですっきりできました。  
○入試一本化は組合が要求して実現したことで、採点ミスがなくすよう、県教委に繰り返し改善を求めてきた。交渉で業務が行われるよう管理職に働きかけていきたい」と県教委  
は回答したが、実際には採点にかかる時間が教科によって相違が大きいという。社会は遅くまでかかった。受検生も1日5教科で負担だったのではないかと？  
○受検生は午前中よくやっていたが、午後になると落ち着きがなくなったり居眠りしているという声もあつた。  
○社会と国語で採点が大変だった。2月よりも3月初旬の方がよいと思う。3月の授業はダダ下がり、何とかならないかと思う。  
○入試前日になって、英語放送について今までとは真逆の指示があつたため、入試



議長の春山さん(左)・坂本さん(右)

業務が中断した。合格発表の翌日に追試験ではなく、追試験をやった後に発表とすべきではないか？  
○担任として卒業生を送り出したが、学年末考査から入試、卒業式と休む間もないが続いた。非常勤の先生は入試の日に学校で採点するのはダメと言われた。理科の採点も大変で、大問ごとの入力も負担に感じた。合格発表後3週間あるので、中学校も指導しづらいと思う。  
**臨時教職員問題**  
○非常勤ニュースやアンケートに取り組む

○初めて非常勤となり、勤務振替の文書を渡されたが、わかりづらい表現だった。労働契約を知らされていないなど、改善すべきことがたくさんあると感じている。前女は連日19時半まで採点だったそうなので、採点しやすくしてほしいと言われた。入試にも働き方改革が求められる。